



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 燦ホールディングス株式会社

コード番号 9628 URL <http://www.san-hd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 古内 耕太郎

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経理部長

(氏名) 大井 信三

TEL 06-6226-1716

四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	4,510	8.8	499	169.1	497	170.0	284	25.4
26年3月期第1四半期	4,145	△1.2	185	△4.5	184	△2.6	227	226.2

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 284百万円 (25.4%) 26年3月期第1四半期 227百万円 (226.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	50.72	—
26年3月期第1四半期	40.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭		
27年3月期第1四半期	25,916	—	21,105	—	81.4	3,757.70
26年3月期	26,231	—	20,932	—	79.8	3,726.98

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 21,105百万円 26年3月期 20,932百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期(累計)	8,700	4.1	650	51.1	640	50.2	320	△3.2	56.97
通期	18,600	3.0	1,930	17.8	1,910	17.8	970	1.7	172.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	6,082,008 株	26年3月期	6,082,008 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	465,396 株	26年3月期	465,396 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	5,616,612 株	26年3月期1Q	5,616,657 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調を続けています。個人消費が、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動により耐久財を中心に一部減少しているものの、雇用・所得環境が改善するもとで底堅く推移しています。さらに、企業収益が改善するなかで設備投資が緩やかに増加したうえ、公共投資も高水準で推移したことによるものです。

葬祭市場においては、社会構造の変化に伴い、消費者の価値観やニーズも急激に変化しつつあり、葬儀の小型化傾向にとどまらず、簡素化した新しい葬儀スタイルの出現や価格のパッケージ化の影響もあり、単価の下落傾向が続いています。

また、長期にわたる安定的な需要が見込まれているため、新規会館の出店を伴う既存業者と新規参入業者との顧客獲得競争に加えて、インターネットによる葬儀紹介業者および会員組織へのサービス提供会社の葬儀業界への参入もあり、競争は激しさを増しています。

このような環境のもと、当社グループでは葬儀に関わる商品・サービスの付加価値の向上、事前相談体制の強化、葬儀後の各種サービスの拡充による収益の継続的向上に取り組んでいます。

その結果、当第1四半期連結累計期間の営業収益は45億10百万円（前年同四半期[以下、前年同期]比8.8%増）、営業利益は4億99百万円（前年同期比169.1%増）、経常利益は4億97百万円（前年同期比170.0%増）、四半期純利益は2億84百万円（前年同期比25.4%増）と増収増益となりました。

セグメントの業績は次の通りです。

(ア) 公益社グループ

公益社グループの中核会社である㈱公益社においては、葬儀件数が前年同期比6.9%増加し、葬儀単価も前年同期比7.0%上昇した結果、葬儀請負収入は前年同期比14.4%の増収となりました。

葬儀件数の高い増加率の主な要因は、首都圏の件数が30.0%増加したことです。また、葬儀単価上昇の要因は、大規模葬儀（金額500万円超）の単価が関西圏・首都圏あわせて前年同期比19.8%上昇したことです。

葬儀に付随する販売やサービス提供においては、首都圏での返礼品販売収入が大幅に伸張し、仏壇仏具販売収入の減収分を補い増収となりました。首都圏において香典辞退率が改善したことに加えて、顧客ニーズに対応した商品の提案力向上が、返礼品販売収入の増加に寄与したと考えられます。

この結果、当セグメントの売上高は38億48百万円（前年同期比11.6%増）となり、セグメント利益は3億16百万円（前年同期は7百万円の損失）となりました。

(イ) 葬仙グループ

葬仙グループの㈱葬仙においては、前年に閉店した大東ホール（島根県雲南市）の影響により葬儀件数は前年同期比2.5%減少し、葬儀単価も0.9%低下したため減収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は3億31百万円（前年同期比3.5%減）となり、セグメント損益は10百万円の損失（前年同期は1百万円の損失）となりました。

(ウ) タルイグループ

タルイグループの㈱タルイにおいては、市営葬儀や他社との競争激化および葬儀の小型化傾向のなか、葬儀件数は前年同期比4.4%減少し、葬儀単価も5.2%低下したため減収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は2億54百万円（前年同期比8.4%減）となり、セグメント利益は9百万円（前年同期比56.1%減）となりました。

(エ) 持株会社グループ

持株会社グループの燦ホールディングス㈱においては、グループ会社からの配当金収入と業務受託収入が減少したことにより減収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は13億60百万円（前年同期比14.0%減）となり、セグメント利益は6億34百万円（前年同期比23.0%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、46億34百万円となり、前連結会計年度末比5億82百万円減少しました。主な要因は、季節性の資金需要（税金、賞与、配当）に加え、後述の新規会館用地の取得資金の需要に自己資金で対応したため、現金及び預金が5億36百万円減少したためです。

固定資産は212億81百万円となり、前連結会計年度末比2億67百万円増加しました。主な要因は、新規会館用地の取得等により有形固定資産が3億64百万円増加した一方、のれんが51百万円、不動産信託受益権が27百万円減少したためです。

この結果、総資産は259億16百万円となり、前連結会計年度末比3億14百万円減少しました。

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は27億52百万円となり、前連結会計年度末比14億74百万円減少しました。主な要因は、1年内償還予定の社債が10億円、賞与引当金が3億68百万円、未払法人税等が2億82百万円、減少したためです。

固定負債は20億58百万円となり、前連結会計年度末比9億87百万円増加しました。主な要因は、社債償還に伴う返済資金の調達により長期借入金が10億5百万円増加したためです。

この結果、負債合計は、48億10百万円となり、前連結会計年度末比4億87百万円減少しました。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、211億5百万円となり、前連結会計年度末比1億72百万円増加しました。この要因は、配当金1億12百万円を支払った一方、四半期純利益2億84百万円を計上したためです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末比1.6ポイント増の81.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第1四半期の業績を勘案し見直しを行った結果、平成26年5月14日に開示を行った第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想を修正することといたしました。

詳細につきましては、本日(平成26年8月7日)別途開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,972,007	3,435,651
営業未収入金	633,947	570,120
商品及び製品	130,652	131,426
原材料及び貯蔵品	38,103	28,773
その他	443,147	469,049
貸倒引当金	△1,266	△470
流動資産合計	5,216,592	4,634,551
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,154,225	7,057,916
土地	10,779,897	11,122,923
リース資産(純額)	246,397	233,448
その他(純額)	152,553	283,138
有形固定資産合計	18,333,074	18,697,427
無形固定資産		
のれん	415,130	363,290
その他	138,810	129,096
無形固定資産合計	553,941	492,386
投資その他の資産		
長期貸付金	468,300	459,002
不動産信託受益権	572,483	544,494
差入保証金	675,397	676,510
その他	431,935	432,512
貸倒引当金	△20,704	△20,745
投資その他の資産合計	2,127,413	2,091,775
固定資産合計	21,014,429	21,281,589
資産合計	26,231,021	25,916,140

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	750,547	605,291
短期借入金	10,000	15,000
1年内償還予定の社債	1,500,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	357,668	325,168
リース債務	78,690	77,823
未払法人税等	309,075	27,040
賞与引当金	532,809	164,373
役員賞与引当金	52,560	12,315
移転損失引当金	19,000	19,000
その他	617,157	1,006,511
流動負債合計	4,227,507	2,752,522
固定負債		
長期借入金	303,247	1,308,830
リース債務	180,656	168,069
退職給付に係る負債	137,901	129,821
資産除去債務	152,101	152,660
その他	296,612	298,693
固定負債合計	1,070,519	2,058,075
負債合計	5,298,026	4,810,598
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,568,157	2,568,157
資本剰余金	5,488,615	5,488,615
利益剰余金	13,889,561	14,062,108
自己株式	△1,013,340	△1,013,340
株主資本合計	20,932,994	21,105,541
純資産合計	20,932,994	21,105,541
負債純資産合計	26,231,021	25,916,140

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
営業収益	4,145,984	4,510,096
営業費用	3,565,386	3,649,138
営業総利益	580,598	860,958
販売費及び一般管理費		
役員報酬	71,889	50,320
給料	87,032	84,840
賞与	6,759	7,994
賞与引当金繰入額	18,598	13,949
役員賞与引当金繰入額	12,450	12,315
貸倒引当金繰入額	△1,721	△443
のれん償却額	51,840	51,840
減価償却費	15,016	14,979
その他	133,170	125,773
販売費及び一般管理費合計	395,035	361,568
営業利益	185,563	499,389
営業外収益		
受取利息	3,076	2,844
受取配当金	4	4
債務勘定整理益	—	2,375
雑収入	10,881	5,046
営業外収益合計	13,962	10,269
営業外費用		
支払利息	9,919	7,973
雑損失	5,293	3,952
営業外費用合計	15,213	11,926
経常利益	184,311	497,733
特別利益		
固定資産売却益	233,025	4
特別利益合計	233,025	4
特別損失		
固定資産除却損	1,752	0
特別損失合計	1,752	0
税金等調整前四半期純利益	415,585	497,738
法人税、住民税及び事業税	113,504	51,821
法人税等調整額	74,915	161,037
法人税等合計	188,420	212,859
少数株主損益調整前四半期純利益	227,164	284,878
少数株主利益	—	—
四半期純利益	227,164	284,878

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	227,164	284,878
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	227,164	284,878
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	227,164	284,878
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	公益社 グループ	葬仙 グループ	タライ グループ	持株会社 グループ	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	3,443,706	343,369	277,825	81,083	4,145,984	—	4,145,984
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	5,562	—	—	1,500,778	1,506,341	△1,506,341	—
計	3,449,268	343,369	277,825	1,581,861	5,652,325	△1,506,341	4,145,984
セグメント利益 又は損失(△)	△7,438	△1,740	21,919	823,780	836,521	△652,209	184,311

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額の内容は以下のとおりであります。

(単位:千円)

	金額
持株会社が連結子会社から受 け取った配当金の相殺消去額	△600,000
のれん償却額	△51,840
債権債務の相殺消去に伴う貸 倒引当金の調整額	△369
合計	△652,209

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	公益社 グループ	葬仙 グループ	タライ グループ	持株会社 グループ	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	3,841,218	331,211	254,340	83,326	4,510,096	—	4,510,096
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	6,999	—	31	1,277,419	1,284,450	△1,284,450	—
計	3,848,217	331,211	254,371	1,360,746	5,794,546	△1,284,450	4,510,096
セグメント利益 又は損失(△)	316,541	△10,327	9,621	634,318	950,154	△452,421	497,733

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額の内容は以下のとおりであります。

(単位:千円)

	金額
持株会社が連結子会社から受 け取った配当金の相殺消去額	△400,000
のれん償却額	△51,840
債権債務の相殺消去に伴う貸 倒引当金の調整額	△581
合計	△452,421

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。